

◎認定第1号 令和5年度一般会計歳入歳出決算

【賛成】薄井議員

令和5年度一般会計歳入歳出決算については様々な問題点があるが、決算剰余金が出るなど基本的には問題ないと思うので認定すべきである。

【反対】三枝議員

3月議会、新農業法人の設立に、4名の議員が反対も空しく、新農業法人への出資が可決された。結果の今、法人は稼働していない。反対活動をされた方々の危惧通りで、申し訳なく感じる所存。職員の仕事を否定する意味ではなく、新町長に責任を問うわけでもない。だが、出資した新農業法人の状態について看過することはできない。

【反対】矢口議員

昨年町が新法人に向け300万円出資した件で、新法人の方針は不透明感を残したままである。美術館、クラブパークは重要な観光資源。維持管理、あり方を含め早急な改善が必要。

◎議案第33号 長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更

【反対】服部議員

医療機関でマイナ保険証の使用率は、現在数パーセントにすぎない。もともとマイナンバーカードは任意であったのに、現在の健康保険証を廃止して、マイナンバーカードに紐づけることに反対なので、議案33号に反対する。

◎議案第35号 池田町執行機関の附属機関設置等に関する条例（義務教育のあり方検討委員会）

【賛成】薄井議員

少子化のなかで、どのような教育環境が子どもに良いのかを論議していくことが最も大切な事と考える。次の2点を要望し、賛成討論とする。委員会として町民へ中間報告会を行い、町民の意見を聞きながら進めて欲しい。委員会は公開とし、議事録は町のホームページに載せて欲しい。

【賛成】三枝議員

教育委員会側の把握している当町の公教育の問題点も事前に、検討事項として挙げ、現場の教職員の方々の参加を求める。また、その会議の様子、誰がどのような発言をされたのかが、わかる開かれた会議と、議事録を速やかに開催後1週間から10日で作成されることを、切望し賛成する。

【賛成】矢口議員

委員の男女比と課題改善されたことに賛成する。必ず傍聴可能とし、全記録を残した議事録を作成をすること、状況を広く公開することを要望する。

◎陳情第10号 訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情

【賛成】三枝議員

引き下げの理由は、「訪問介護が儲け過ぎだから、調整し基本報酬を引き下げる」という。実態は、一部の大規模事業所、大都市圏のサ高住の様な集合住宅を周る事業者が平均利益を押し上げ、全体の36.7%が赤字。当町の様な中山間地で、高齢者の自宅を一軒一軒回る事業所は、移動燃料の高騰が響いている。移動時間も報酬がなく訪問するほど赤字だ。地域格差も考えず、一律の引き下げを行った矛盾。数字しか見ていない官僚が立案したと思う。強く賛成する。

◎請願第12号 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出を求める請願

【賛成】矢口議員

社会全体の意識を変える契機となり、子どもたち、またその子どもたちが安心して暮らせる社会の実現のためにも非常に重要であると考え賛成する。

【賛成】三枝議員

今回の選択議定書の批准は非常に重要だ。行政府は1999年から各部門に分かれて選択議定書の批准について53回、25年間研究会ばかりだ。選択議定書とは、締結した条約国に実行するよう、それを監視、遵守するための委員会を立ち上げ、個人通報をできるようにするものだ。いま、日本は国際機関に直接人権救済の申立てができる手段を一切持たない、希有な国と国連からもみられている。故にこの請願に賛成する。